



## トピックス 亀戸SC教室・土田先生に代講いただきました

下記の事情で、1月23日（火）の亀戸SC教室は、土田亮先生（東京都支部長）にお願いして代講していただきました。ひごろ協会活動、支部活動になじみの少ない生徒さんも多いこの会なので、いろいろとお話しただけの良い機会と考えてご無理をお願いしました。土田先生有難うございました。

## 閑人閑話 20年ぶりのホーチミン訪問～その1

古い話ですが、1997年から1999年にかけての約2年間、ベトナムのホーチミン市で働いていましたが、このたび、当時係わっていた「チー・バイ国際港」の開港記念式典にお招きを受けて、なんと20年ぶりに！懐かしいホーチミンを訪問することが出来ました。

開港式典は、1月22日（月）午前9時半から現地で、約300人の関係者、招待客が出席して盛大に挙行され、次いで、近くのホテルで祝宴が開催されました。開港した「チー・バイ国際港」はホーチミン市の南東のブンタオ省フーミー町（当時は村）のチーバイ川（川幅600m）に、主岸壁300m（水深14m）とバージ岸壁を備える堂々たる国際港です。20年前にはマングローブの林と汽水湿地であった場所が、このような立派な港湾に生まれ変わっている、その場に立つことが出来て、万感胸に迫るものがありました。

私の感慨を20年前に作った短歌、そして今回詠んだ短歌と比べて、写真も添えて紹介します。すっかり変わったホーチミンの街の様子などは次号の3月号でご紹介する予定です。

### 20年前に詠んだ歌

開発を待つ静けさよチーバイの  
水辺にハゼの跳ねる音して  
烈日のチーバイ山に対峙して  
汽水湿地に描く夢あり

【1997年当時の岸壁予定地】



### 今回詠んだ歌

思わぬに旧き縁（えにし）で招かれて  
チーバイ新港の岸壁に立つ  
二十年（はたとせ）を隔てて会えるそのかみの  
朋らと語る苦楽のあれこれ

【開港式典会場で映し出された新岸壁の映像】



## 左顧右盼 第21話 『中東の宗教と民族について』

### 第1章 ユダヤ教・キリスト教・イスラム教の成立のいきさつ

イスラエルが主張する首都エルサレムに、トランプ大統領がアメリカ大使館を移すと宣言して、ただ

でさえきな臭い中東に、またもう一つの火種が投げ込まれたような状況です。

遠い地の出来事であり、かつ日本人には本来理解しにくい、この聖地エルサレム問題、つまり三つの一神教の宗教の間の争いのことですが、どちらかの肩を持つということではなく、勉強のために、それぞれの成立の歴史と基本要素だけをまず整理してみました。

ユダヤ教・キリスト教・イスラム教の比較			
西暦	ユダヤ教	キリスト教	イスラム教
<b>三宗教の成立までの年表</b>			
BC 1720頃	ヒクソス（セム人）の侵入		
BC 1680頃	ヒクソス王朝（一神教） （エジプトを支配）		
BC 1565～	新王国時代（奴隷化される）		
BC 1360頃	モーゼによる脱エジプト （サントリーニ火山大噴火） 十戒の契約【ユダヤ教の成立】		
BC 1000頃	カナンの地に定着		
BC 900頃	エルサレム神殿建設 （ソロモン王時代）		
AD 1?		（キリスト誕生）	
AD 33?		キリスト処刑	
AD 70	エルサレム破壊、流浪の旅へ	キリスト教の成立	
AD 622			モハメッドが神の啓示を受け イスラム教成立【メッカ】
AD 680頃			岩のドーム建設【エルサレム】
<b>基本的要素</b>			
信仰対象	造物主	造物主	造物主（アッラー）
預言者	モーゼ	イエスキリスト （救世主）	モハメッド（ムハンドラ） （最後の預言者）
聖典	旧約聖書	旧約・新約聖書	コーラン
エルサレムの聖地	嘆きの壁 （エルサレム神殿の壁）	聖墳墓教会 （キリストの墓）	岩のドーム （下記）
特徴	イスラエル人の救済	全人類の救済	キリスト教は不完全

上の表について若干補足します。ユダヤ教の列の上の4行（茶文字部分）はエジプト史を引用したものです。つまり、エジプトに中東から一神教を信じるセム人（つまりユダヤ人）が侵攻して来て一時期エジプトを支配したということ、それがラムセス王朝によって反撃され、逆に奴隷化され、そのために、脱エジプトにつながったと読むとわかりやすいのではないかと思います。セム人とは、“ノアの箱舟”の主であるノアの三人の息子の一人「セム」の係累を言います。

次にイスラム教成立についてですが、モハメッドが神の啓示を受けたのはメッカであることは明快で、メッカが第1の聖地ですが、第3の聖地とされる岩のドームの建設の由来については、以下、ウイキペ

ディア辞典の記述の一部を引用します。【注；第2の聖地はモハメッド昇天の地メディーナです。】

『岩のドームはかつてのエルサレム神殿内にあり、建設はウマイヤ朝第5代カリフ【後継者、モハメッドの代理人—茶木注】であるアブドゥルマリクが建設を思い立ち、688年に着工した。当時、イスラム教最高の聖地メッカは、第4代正統カリフ・アリーを支持するイブン・アッ・ズバイルによって制圧されており、それが岩のドーム建設の直接の動機であったと推察される。建物は、預言者モハメット（ムハンマド）が夜の旅（イスラー）に旅立ち、また、アブラハムが息子イサクを犠牲に捧げようとした（イサクの燔祭）場所【つまり旧約聖書の記述にある場所—茶木注】と信じられている「聖なる岩」を取り囲むように建設され、692年に完成した。』

つまり、正統カリフ・アリー派に対抗する形で、メッカとは離れたエルサレムに別の聖地を作り上げたものとも読み取れます。

以上、三宗教の成立の経緯、および、エルサレムにおける聖跡について、勉強してみました。ニュースを見るときのご参考にでもなればと思います。【地図はエルサレム旧市街】

次号では人類の大移動と人種、民族の発生の歴史を解説します。

## 旅をうたい拳を詠む

### 1. 古代アンデス展の感慨

生と死が隣り合ってるアンデスの土器に見られる不気味な明るさ  
ジャガイモもトマトもカボチャもトウキビも

ここアンデスで生まれしものとは

唐辛子は「唐」ではなくて「アンデス」が原産なりとキムチ味わう

【写真は、上;自分の首を神へ生贄としてささげる男の壺、下;戦利品の生首を描いた大壺】

上野の科学博物館で開催中の「古代アンデス文明展」を年末に観てきました。上の短歌はその感慨を詠ったものです。古代アンデス文明と一口に言いますが、時系列としては紀元前3000年ぐらいから、スペインによって征服された紀元1600年ぐらいまでと長く、場所もエクアドル、ペルー、チリ、ボリビアの海岸部、山岳部を網羅していて、それぞれ多様な文明が興亡したことが特徴です。面白いもの、感心するものたくさんありましたが、とくに奇妙な土器の数々に魅せられました。そのうちの二つを、私が会場で撮った写真でご紹介します。



### 2. 30年ぶりの香港旅行

正月の元旦から4日まで、3泊4日の香港旅行をしてきました。今年秋のダイヤモンド婚を先取りしての二人旅です。香港は30年ぶりに来ましたがその大変容ぶりにほんとうに驚きました。旅程と食事をご紹介します。ホテルは九龍の尖沙咀（チムサアチョイ）の「シェラトン香港ホテル&タワーズ」でした。



**1月1日(月)** 羽田発香港着 ヴィクトリアピークで夜景観賞。

【昼】機内食【夕】帝苑軒(ロイヤルガーデンホテル) 広東料理

【右;ヴィクトリアピークの新展望台】

香港に<sup>みととせ</sup>三十年ぶりに来てみれば聞きしに勝る大発展なり

山頂は展望台も階段もトイレまでもが人であふれて

本土から次々に来る客人を<sup>こうがい</sup>蝗害の如しと当地人言う



**1月2日(火)** 香港島南部のレパレスベイとスタンレイマーケット散策。九龍に戻って、標高394mの展望台「スカイ100」で、まるで鳥になった気分です市街や海を見下ろす。有名俳優などの銅像、肖像画、手形がある人気の「ガーデンオブスターズ」で遊ぶ。夕食後、観光船に乗って海上から名物「光と音のシンフォニー」を楽しむ。 【右;チャンツイーの肖像画の前で】

【朝】 大興(市内) 香港式朝食、インスタントラーメン使用の麺料理など。 客は出勤前の香港人ばかり。

【昼】 欣園軒(インターコンチネンタルホテル) 点心付き広東料理

【夕】 炊公館(アイスクェアービル・尖沙咀) 北京ダック付き北京料理

巨大なるエネルギー秘め曉闇に高層ビル群静かに眠る

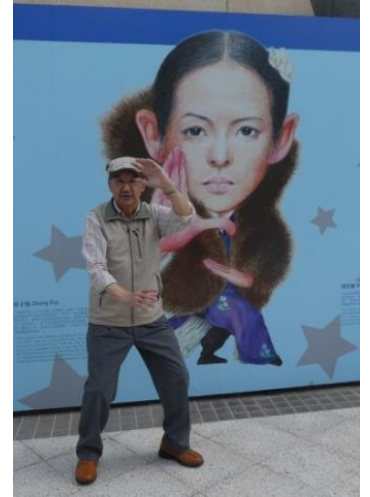
“スカイ100”は60秒で天空へ鳥の眼で見る香港の街

深川の八幡様にはあらずして異国の古廟に初詣です

異つ国の習いに従い三拝し天后聖母に線香手向ける

兩岸で競うがごとく海峡に眩き光をさまざまに射る

光との競演なれどスマホにて音を聞くとふ不思議な静寂



**1月3日(水)** 自由行動日、終日ホテル隣接の繁華街「尖沙咀(チムサアチヨイ)」を散策というか、もっぱらお土産探し。

【朝】 ホテルレストラン 洋食ビュッフェ

【昼】 金牌小籠(アイスクェアービル) 飲茶 【夕】 ホテルレストラ

ン ベトナムフォー、海南島風チキンライスなど

【上; 天后聖母像、下; 香港島の夜景】

テレサテンの演歌が流れる飲茶舗で

台湾風の小籠包食む

北京から香港広東上海に日越洋までグルメ三昧

衝突しまた入り交じり崩されて

そして生まれる新しき食

**1月4日(木)** 昼食と買い物。夕刻香港発夜羽田着。

【朝】 ホテルレストラン 中華粥、饅頭など

【昼】 丸亀製麺(アイスクェアービル) 讃岐うどん、トッピング付き

【夕】 機内食



モノとカネそしてヒトとを結び付けダイナミックに伸び行く香港

香港空港は貨物取扱量世界一、旅客数でも世界4位ぐらい、コンテナターミナルもかつては世界一、現在でも、第6位ぐらいと、どちらもすごい規模です。その感慨を詠ったものです。